

おやまアートビレッジ

アートメダル 国際交流展

2021

会期
2021.11.7[日] ▶ 21[日]

10時～17時 小山町もみじまつり開催期間
(11月19日～21日)は20時まで開館

会期中無休 / 入場無料

会場 豊門会館
[国登録有形文化財]
静岡県駿東郡小山町藤曲 144-8 豊門公園内

MAP▶



ワークショップ

〈内容〉石膏を使ったアートメダル制作
〈日時〉2021年11月14日(日) 午前・午後
※事前予約制・参加費無料

参加申し込み▶



- 関連展
1. FIDEM TOKYO 2020, 国際アートメダル展
〈会場〉ホテル雅叙園東京内「百段階段」
〈会期〉2021年12月2日(木)～16日(木)
 2. “触れる”アートメダル展
〈会場〉銀座ギャラリー青羅
〈会期〉2022年1月17日(月)～30日(日)

主催：筑波大学 [TAMP:つくばアートメダルプロジェクト]
共催：おやまアートビレッジ実行委員会
協力：黒谷美術株式会社、株式会社日本金属工芸研究所、
ふじおやまアートデザイン協会、静岡おやま案内 四季の旅人
後援：小山町商工会、J.A.M.A (日本芸術メダル協会)、
一般社団法人 FIDEM JAPAN

TAMP
The Tokyo
Art Medal
Project



TAMP: つくばアートメダルプロジェクトについて

TAMP
つくばアートメダル
プロジェクト

筑波大学芸術組織では、2019年から「つくばアートメダルプロジェクト (TAMP)」を立ち上げ、「ダイバーシティ」や「インクルージョン」をキーワードとして、アートの視点からメダルに関連させた芸術教育のプログラムを展開しています。SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」の達成に向けて、大学だけでなく、筑波大学附属小学校・中学校・高等学校・視覚特別支援学校も連携して活動に取り組んで来ました。

TAMPでは大きく分けて3つの事業に取り組んでいます。一つ目は「アートメダル国際交流展」の開催です。2020年10月には、ニコラウス・コペルニクス大学(ポーランド)と協働して、11ヶ国13グループが参加する展覧会を静岡県小山町で開催しました。二つ目は「誰もが参加できるメダルワークショップ」で、子どもから大人までが参加可能なアートイベントを開催してきました。ここで蓄積された経験は、筑波大学附属学校でのアートメダルを通じた教育活動にも活かされています。三つ目は「触れるアートメダル」の取り組みです。手のひらの中に広がる芸術は視覚に障害のある子どもたちが制作者・鑑賞者として楽しむことのできる可能性を有しています。

プロジェクト発足の契機は、国際芸術メダル連盟(FIDEM)との連携にあります。FIDEM東京2020の開催の準備としてFIDEM会員が日本に訪れた際に、筑波大学附属高校で講演やワークショップを実施したことは貴重な経験となりました。2021年7月には、日本アートメダル展(日本芸術メダル連盟主催)の会場に、昨年小山町で展示した作品たちが巡回しました。そして、今年の豊門会館の展示では、なかなか遠出することも叶わないこの時代に、コロナ禍に負けず海を越えて集まった「手のひらの芸術」たちを一堂に展示します。

東京オリンピック・パラリンピックによってメダルへの注目が集まるこの時期に、人種や文化、宗教、価値観の多様性を尊重するその精神を引き継ぎつつ、TAMPでは教育・学術の立脚地からメダルの可能性を探究します。そして、アートメダルの取り組みによって、既存の芸術及び教育分野を横断的に繋ぐことを試みます。



展示内容

1. 国際メダルプロジェクト

【参加校】

ニコラウス・コペルニクス大学(ポーランド・プロジェクトオーガナイザー) / Academy of Fine Arts in Gdańsk(ポーランド)
ヤン・マテイコ美術アカデミー(ポーランド) / ワルシャワ美術アカデミー(ポーランド) / 国立芸術アカデミー(ブルガリア)
ザグレブ大学(クロアチア) / マドリッド・コンプルテンセ大学(スペイン) / ヴィリニウス芸術アカデミー(リトアニア)
ラトビア芸術アカデミー(ラトビア) / リスボン大学(ポルトガル) / Artistic School António Arroio(ポルトガル)
Secondary School of Art, Szombathely(ハンガリー) / NYメダルギャラリー Medialia 選抜グループ(アメリカ)
名古屋芸術大学(日本) / 大同大学(日本) / 筑波大学(日本)

計16団体(11ヶ国)

2. アートメダル教育プロジェクト

筑波大学・附属学校(小・中・高・視覚特別支援)及びワークショップにおいて制作した作品展

筑波大学附属学校での授業実践(附属高校)

高校1年次美術Iの選択者と、高校2年工芸IIの芸選択者を対象に、アートメダルの授業を展開しました。共に「アートメダルとは何か?」という根源的な問いを出発点とし、美術では「メダルの表と裏の関係性」に着目し、作品の構想を練りました。また、石膏・レジン・ブロンズなど多様な素材にも挑戦しています。工芸では、「メダルを身につける」という点に注目し、陶を素材としてアートメダルを制作しました。オリジナルの釉薬を調合し表面の装飾を施しています。生徒それぞれの取り組みをご高覧いただけますと幸いです。

